

2021年10月8日

東京学芸大学 文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」2021

企画開発委員会調査部会 第5回ヒアリング資料

東京都立六郷工科高等学校（全日制）

六郷工科高等学校

ご紹介

2021年10月8日

六郷工科高等学校

2004年開校

創立18周年



教育目標

- あいさつを大事にして職業人としての立ち居振舞いができる人財(生徒)の育成
- 就職試験に合格できる学力の定着

本校（工業科）の特徴

●充実した学習環境

- ・ 専門科目に最適な施設・設備
- ・ 広い実習スペース
- ・ 全教室・実習室冷暖房完備

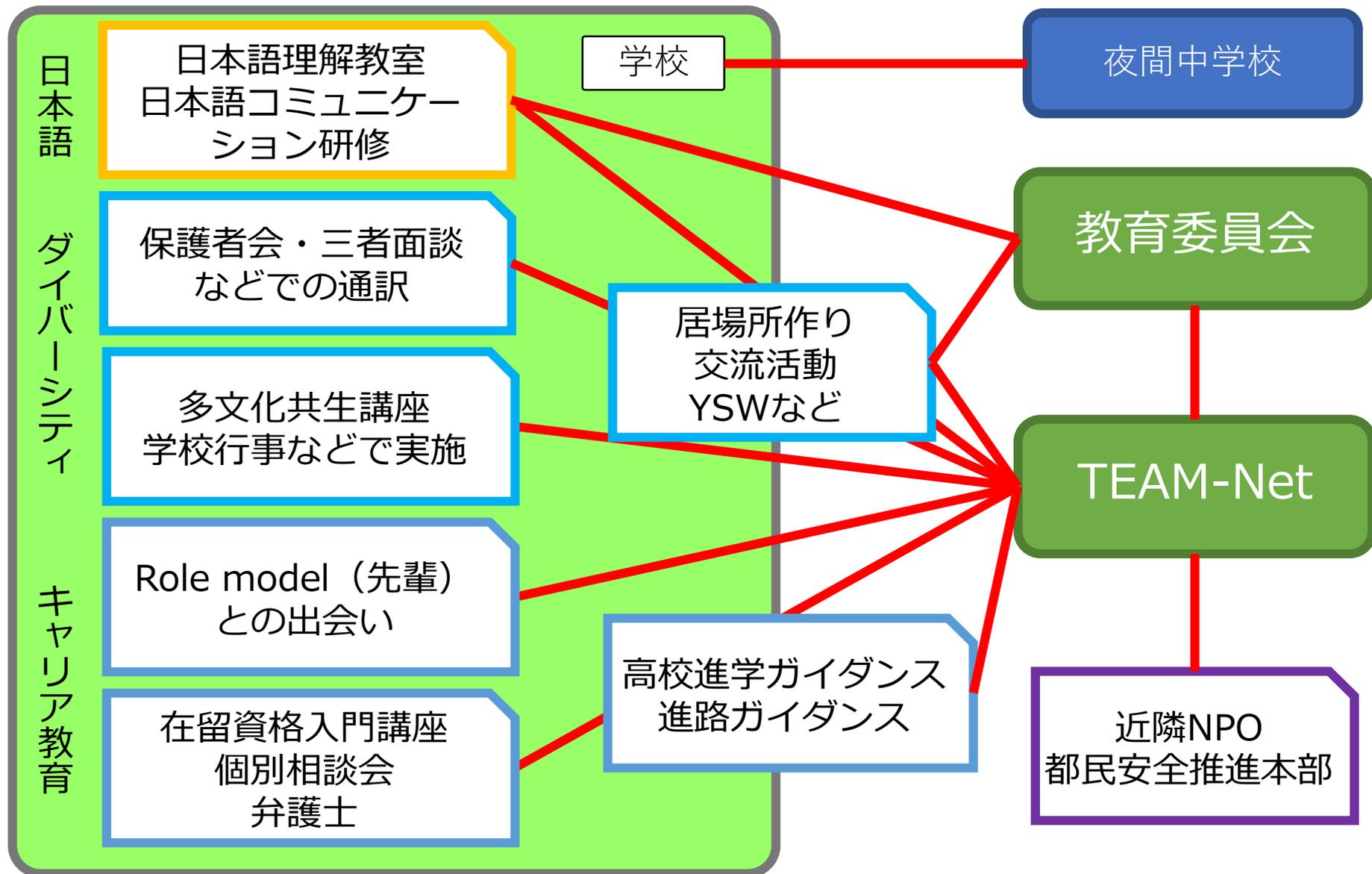


広いスペースに工場設備と同等な実習設備

各科にパソコンがいっぱい

多文化共生教育 支援の取り組み

学外との連携



英語検定
漢字検定
日本語能力試験
技能検定など

多文化理解体験

在留資格支援

インターンシップ

外国につながる生徒用
個人Card

教員の資質向上

- ・ 日本語指導
- ・ 日本語コミュニケーション研修
- ・ キャリア教育
- ・ 多文化共生スクールコーディネータ
- ・ 在留資格についての研修

在留資格、家庭状況など

在京外国人生徒



2月25日
(木曜日)

輝けメカニクス

整備工場の人づくり

<202>

東京都立六郷工科高校（佐々木哲校長）は、全国の工業

高校では珍しく、自動車整備には、日本語の難しさ、入国に關するオートモビル科で外国人留学生を受け入れてい

る。国籍も中国、ネパール、パキスタンと幅広い。生徒らは3年間で日本語能力や自動車整備に關する知識・技能向上だけでなく、人間的にも大きく成長したと口をそろえる。卒業後の進路は、大学や専門学校などとさまざまだが、自動車関連に進む生徒が大

（谷口 利満）

■自動車への憧れから来日「幼い頃からクルマが好きで、日本で勉強したいと思

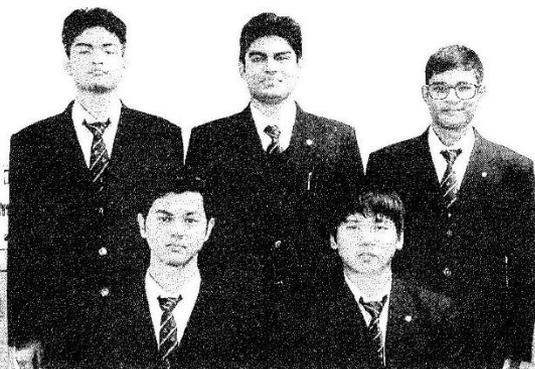
いが強かった」と話すのは、ネパールのブン・ケファスさん。アニメや映画を通じた

好印象も来日を後押しする動

将来は経営者に 広がる夢

多数の外国人留学生受け入れ

東京都立六郷工科高校



（前列右から）康志豪さん、パスネット・サンデスさん、（後列右から）サキヤ・アシスさん、シドウ・ムハンマド・タニシさん、ブン・ケファスさん

マド・タニシさんは振り返る。卒業後の進路「卒業後を迎えろが、将来の夢は大きく広がる。考えた。中国人の康志豪さん」

4年制大学に進み、その後は「自動車大学校で1級自動車整備士養成課程とボディー

整備士養成課程とボディー

整

備



在京外国人選考

ADMISSIONS FOR FOREIGN STUDENTS RESIDING IN TOKYO



るくこうこうこうとうがっこう とうきょう
六郷工科高等学校は東京に
す がいこくじん にゅうし
住む外国人のための入試を
じっし
実施しています。

全学科対象

（令和3年度）

日本語、整備技術に加え人間性にも磨き

高校生のときにやっておけば
良かったこと

英語の文法

漢字の練習（1日1ページ）

難しい漢字の読み書き

日本語能力試験1級か2級

工業に関する資格や検定

2021年3月卒業生の進路

日本語理解教室に参加したことのある生徒			
3年生	生徒名	日本語能力検定	進路
	P1	N2	京都先端科学大学 工学部
	N1	N2	東京電機大学 機械工学部
	N2	N3	東京工科自動車大学校
	N3		東京工科自動車大学校
	C1	N2	駿河台大学 メディア情報学部
	C2	N3	東京工芸大学 工学部
	C3		日本工学院専門学校
	C4		東京自動車大学校
他に4名が外国につながる生徒			

多文化共生スクールコーデイ ネーターの支援目標

1. 担当教諭と密に連絡を取り合い、学校と共通の現状認識を持って、外国とつながりのある生徒の支援に当たる。
2. 生徒との面談、インタビュー、授業参観、可能な限りの学校行事の参加、『日本語理解』の教室活動を通して、生徒の状況（教科の先生の指示、書いてあることなどがわかっているか等）をできるだけ正確に把握する。
3. 外国とつながりのある生徒と日本人の生徒が一緒に参加できる企画を通して、双方歩み寄りの多文化共生高校生活の実現を目指す。
4. 日本語学習支援においては、生徒に日本語能力試験など具体的な目標を示して、生徒の日本語能力向上を図り、将来へのワンステップとなる成果を上げる。

現状における課題

1.日本語学習支援担当者として生徒の日本語能力までは把握はできるが、コーディネータとしては学科の成績、単位取得状況等把握すること。

2.学校全体で参加できる研修会を企画、実施すること。

昨年は学校が企画した「在留資格に関する研修会」に参加し、大変勉強になった。今年は「コミュニケーション手段としての『日本語』」など、学校全体、教師も職員もいずれの生徒も一緒に学ぶ「研修会」を学校の担当者と共に企画、実施すること。（コロナの感染状況次第）

3.日本語学習について、昨年の1年生は、日常の会話においては一様に何となく話すことができ、聞ける。但し、正確さにおいては定時制生徒4名を含め、『日本語理解』受講生徒11名の内、学習内容が定着している生徒は2, 3名のみ。助詞の使い方、漢字、カタカナの表記が習得できていない生徒もいる。日本語能力試験や漢字検定など、正誤がはっきり判定される到達目標が必要である。

今年度、取り組んでいる項目

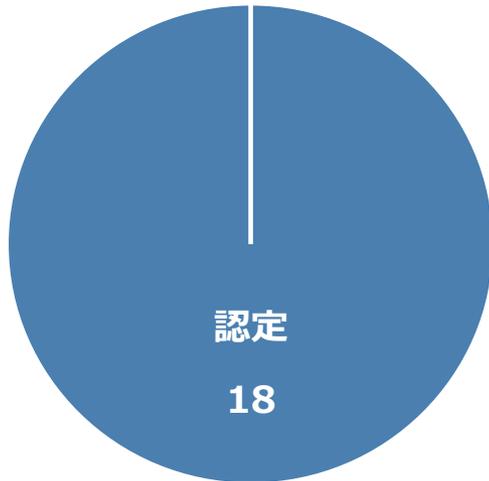
日本語支援	日本語理解教室（月、火、木、金 1日70分）
	日本語理解に関わるミーティング（月に1回程度）
	日本語能力試験（JLPT）の受験指導、出願支援
多文化理解教育	日本語コミュニケーション（つながる日本語）研修会
	日本文化体験（フィールドワークなど）
	自文化紹介（大田区スピーチコンテストなど）
他組織との連携	高校入学にあたっての多言語ガイダンス
	日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス
	外国につながる高校生のための進路ガイダンス

在京外国人生徒の就学支援制度利用状況（全日制課程）

在京外国人生徒数

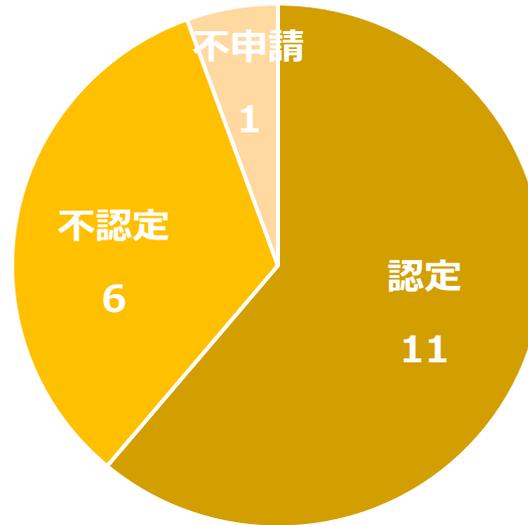
18名（ネパール国籍ほか）

就学支援金



在籍者は全員認定

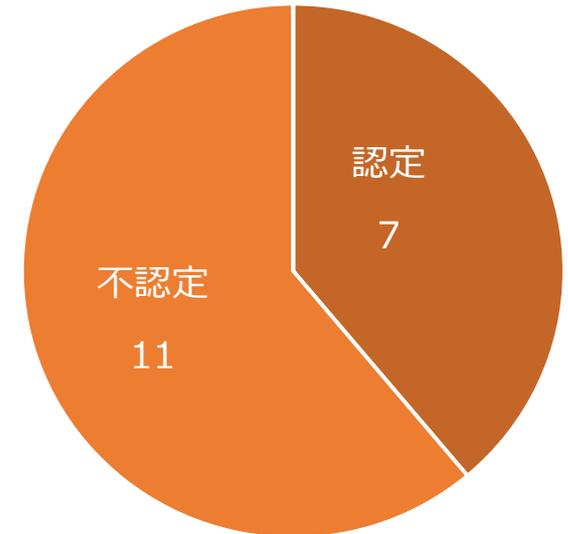
給付型奨学金



不認定・不申請理由

- ・所得割額が基準超過（5名）
- ・課税額不明のため（1名）
- ・督促したが書類提出なし（1名）

奨学のための給付金



不認定期理由

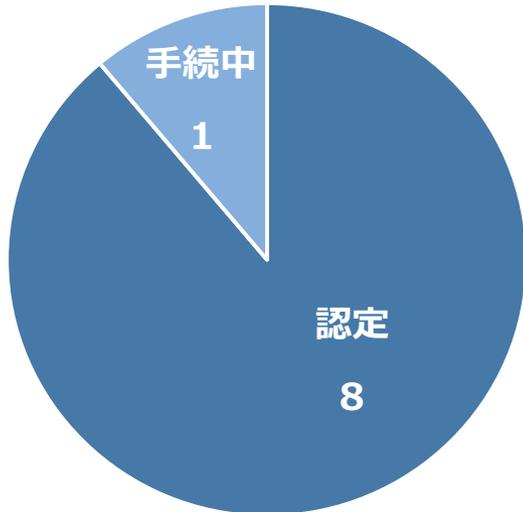
- ・非課税又は生活保護世帯に当たらないため（11名）

在京外国人生徒の就学支援制度利用状況（定時制課程）

在京外国人生徒数

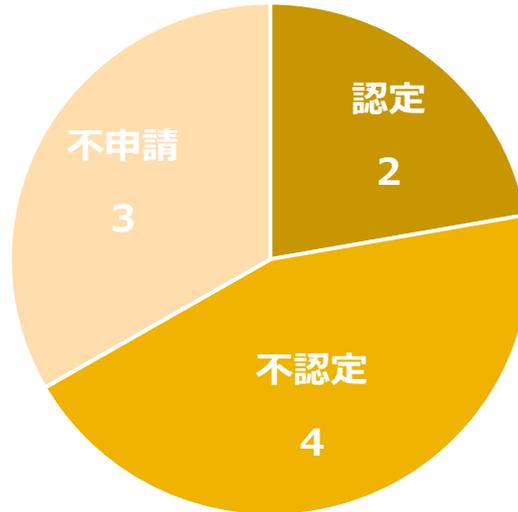
9名（ネパール国籍ほか）

就学支援金



認定 8名
課税額照会中 1名

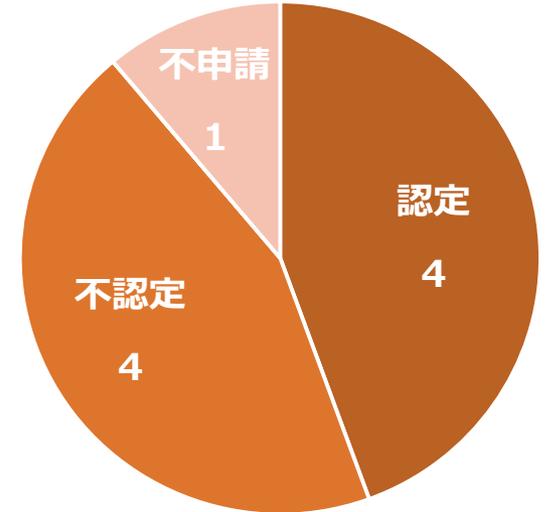
給付型奨学金



不認定・不申請理由

- ・所得割額が基準超過（4名）
- ・督促したが書類提出なし（2名）
- ・課税額不明のため（1名）

奨学のための給付金



不認定・不申請理由

- ・非課税又は生活保護世帯に当たらないため（4名）
- ・課税額不明のため（1名）